

アグリ | ワーク | ポイント



果樹林産センター 小柳博明

令和4年度の準備

2月は、土づくりや改植の準備等の次年度へ向けた管理が主な作業になり、出荷は、終盤を迎えていると思います。最後まで高品質なミカンを出荷するため、貯蔵管理を徹底しましょう。

貯蔵管理

貯蔵は、温度5〜8℃、湿度85%が目安となり、2週間に一回程度は腐敗果の除去や貯蔵箱の差し替えを行います。貯蔵庫内の果実が減少してくると湿度が低下しやすいので注意しましょう。

樹勢回復

令和3年産は、比較的着果量が多かったことや秋以降の乾燥などで樹に大きな負担が掛かりました。尿素500倍等の窒素系液肥の葉面散布や暖かい日にかん水を行い、次年度に向けて樹勢を回復させましょう。

また、寒害による冬季の落葉は、樹勢を低下させ次年度の着花量を減少させるので、寒冷紗やコモなどで樹を被覆して落葉防止に努めましょう。

土づくり

ミカン栽培に適した土壌pHは5.5〜6.5です。まずは、園地ごとに土壌分析を行って土壌の状況を把握しましょう。土壌が酸性化していると、根の発根や肥料の吸収が抑えられてしまうので、苦土セルカや苦土石灰等の土壌改良材を施用しましょう。なお、堆肥を投入すると、土壌がやわらくなって通気性と保水性が向上し、新根が発生しやすい環境となります。

・苦土セルカ2号 160kg/10a

間伐

表年が予想される樹や園地は、剪定に取り掛かりましょう。剪定前には園地を回り、樹と樹の密植の有無や古い樹に生産性があるかなどを確認しましょう。密植園や老木園は病害虫の発生や隔年結果の助長など高品質果実の安定生産は難しいため、樹と樹が混み合っている場合や樹齢25〜30年以上の樹は思い切って間伐しましょう。また、3月は苗木の植え付け時期になるので、スムーズな植え付けが行えるように植え穴などの準備も行いましょう。